

令和 3 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立難波中学校 学校協議会

1 総括についての評価

本年度の学校の自己評価結果は概ね妥当である。

不登校とコロナでの欠席の線引きが難しそうですが、不登校の分析が色々な事についての手がかりになると思います。(いじめ、友達、学校の問題、家庭、地域の問題、貧困、コロナにおける家庭、経済の問題等)

2 年度目標 (全市共通・学校園) ごとの評価

年度目標：心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上

・中学生チャレンジテストにおける対府平均比を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。【達成】

- ・ 1 年生※3 科[R2]0.86→[R3]0.92
- ・ 2 年生※3 科[R2]0.80→[R3]0.93
- ・ 3 年生※5 科[R2]実施せず→[R3]0.91

・中学生チャレンジテストにおける得点が府平均の 7 割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント減少させる。【達成】

- ・ 1 年生※3 科[R2]33.9→[R3]25.0
- ・ 2 年生※3 科[R2]41.1→[R3]21.8
- ・ 3 年生※5 科[R2]実施せず→[R3]27.5

・中学生チャレンジテストにおける得点が府平均を 2 割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント増加させる。【達成】

- ・ 1 年生※3 科[R2]13.6→[R3]18.1
- ・ 2 年生※3 科[R2]14.3→[R3]21.8
- ・ 3 年生※5 科[R2]実施せず→[R3]19.6

・校内調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。【達成】

- ・ [R2]80.8%→[R3]86.6%

・全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点において、全国平均との差を -5 ポイント以上にする。※()内は全国平均、R2 は大阪市体力テストから 【達成】

- ・ 男子[R1]32.71(41.6)→[R2]37.67→[R3] 39.77(41.18) 差▲1.41
- ・ 女子[R1]42.91(50.0)→[R2]45.66→[R3] 差 1.03

年度目標：【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】

・年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。

【達成】 [R2]100.0%→[R3]95.0%

・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を 90%以上にする。

【達成】 [R2]95.8%→[R3]94.5%

- ・年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。

【未達成】 [R1]0人→[R2]1人→[R3]1人

- ・年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。

【達成】 [R1]1.70%→[R2]2.27%→[R3]1.93%

達成状況の評価に関しては妥当である。全国学力・学習状況調査や中学校チャレンジテストを丁寧に分析するほか、年間2回、生徒と保護者に学校アンケートを実施し、成果と課題を明確にできていると考える。

3 今後の学校園の運営についての意見

学校・先生方も大変だが、一生懸命何とかしようとする努力は感じられる。協力できることがあれば協力していきたい。

コロナが原因と表に出さないところはさすがだと思いますが、コロナで学校として2年間困ったことが有ったと思います。

コロナ禍の時代に育った子供たちへの影響が同様になるのか、見ていかなくてはなりません。コロナ禍での2年間の総括は必要かと思います。

おおむね目標達成できた項目が多く、学校の努力がうかがえる。しかし、不登校率の上昇や、学校へ行くのが楽しいと感じない生徒数の増加が気になる。自己肯定感を高めることのできる取り組みの必要性を感じる。

ICT活用で苦労されると思うが、生徒にとっての効果的な活用を進めていただきたい。

講師を招いて、命の大切さを伝える講話の機会があればいいなと思う。

元気アップ事業について、例年のようにはできなかったことが残念。ボランティアの確保も喫緊の課題だと感じる。昼休みの活用をさらに進めていくことは難しいだろうか。

SOGIのレポート、じっくり拝見させていただいた。我が子が難波中学校に通っていた頃、同じように制服が原因で次第に不登校になっていった生徒が、その頃に、このような取り組みがあれば違っていたのかなと思った。SOGIと同時に、安心して話せる場所づくりは難しいだろうか。